

「シーメンス事件と山本権兵衛内閣」 関係年表

文久 3	1863	7. 2 薩英戦争。英東洋艦隊、鹿児島砲撃	元 2	1913	7. 2 船橋の海軍無線電信所、シーメンス社と契約
慶応 4	1868	1. 3 鳥羽伏見の戦い。戊辰戦争始まる			8. 1 文官任用令の改正公布
明治 10	1877	2. 14 西南戦争起こる			10. 10 桂太郎死去。65歳
11	1878	12. 5 参謀本部設置。初代本部長山県有朋			11. 10 東京湾で観艦式。金剛も参加
15	1882	1. 4 軍人勅諭発布			11. 17 シーメンス東京支配人ヘルマン、齋藤海相に重要書類盗難を知らせる
18	1885	3. 1 福沢諭吉、時事新報を創刊			12. 23 立憲同志会結党式。総裁に加藤高明
19	1886	12. 22 内閣制度創設。初代首相伊藤博文			1. 12 櫻島135年ぶりの大噴火。死者35人
21	1888	8. 13 長崎事件。清国水兵が警察署襲撃	3	1914	1. 22 夕刊各紙「シーメンス贈賄事件」報道
23	1890	4. 30 枢密院設置。初代議長に伊藤博文			1. 23 同志会の島田三郎、議会で追及
		7. 1 第1回衆議院選挙			1. 28 海軍省、査問委員会を設置◆司法省に捜査依頼。主任検事に小原直
		10. 24 貴族院創設。初代議長に伊藤博文			1. 29 プレー記者取調べ。捜査始まる
24	1891	11. 25 第1回帝国議会召集			2. 2 検事局、ヘルマンを召喚
26	1893	6. 17 山本権兵衛、海軍官房主事に			2. 5 憲政擁護会、「藩閥撲滅・海軍廓清」
		3. 11 西郷従道、第2次伊藤内閣海相に			2. 8 沢崎猛寛海軍大佐拘引。収賄認める
		5. 19 海軍軍令部設置			2. 10 山本内閣不信任決議案、衆院で否決◆民衆、議会を包囲し軍隊出動
27	1894	8. 1 日清戦争始まる			2. 15 藤井光五郎少将と沢崎、軍法会議に
28	1895	4. 17 下関講和条約調印			2. 18 松本和・呉鎮守府長官の官舎搜索
		4. 23 日本の遼東半島領有に三国干涉			3. 12 三井物産重役岩原謙三拘引
		10. 31 清国賠償金(1割)英貨822万ポンド受領			3. 13 貴族院、海軍予算の7千万円減額可決
31	1898	6. 30 憲政党の第1次大隈重信内閣			3. 17 シ社代理人吉田収吉、監獄で縊死
		11. 8 山本、第2次山県内閣海相に就任			3. 23 予算案、貴族院で否決され不成立
32	1899	3. 28 文官任用令を改正			3. 24 山本権兵衛内閣総辞職
33	1900	5. 19 軍部大臣現役武官制を実施			4. 16 第2次大隈内閣。法相に尾崎行雄
35	1902	1. 30 日英同盟調印			5. 11 山本、齋藤両大将、予備役に編入
36	1903	11. 6 横須賀、呉、佐世保、舞鶴に海軍工廠			5. 15 海軍軍法会議、沢崎大佐に懲役1年
37	1904	2. 10 日露戦争始まる			5. 19 海軍軍法会議、松本中將に懲役3年
38	1905	5. 27 日本海海戦。バルチック艦隊を破る			6. 18 西園寺、政友会総裁を辞任。第3代総裁に原敬
		9. 5 日露講和条約調印。日比谷焼打事件			7. 28 第1次世界大戦始まる
39	1906	1. 7 第1次西園寺公望内閣。海相に齋藤実			8. 23 日本、ドイツに宣戦布告
		12. 20 英戦艦ドレッドノート竣工の報道			9. 3 軍法会議、藤井少将に懲役4年6月
40	1907	4. 4 帝国国防方針制定			9. 29 原敬内閣。陸海・外相除き政友会黨員
43	1910	7. 12 超弩級戦艦5隻の建造を閣議決定			11. 4 原敬、東京駅で暗殺される。65歳
		10. 5 巡洋戦艦金剛、ヴィッカーズに発注			2. 1 山県有朋死去。83歳
45	1912	7. 30 明治天皇崩御			2. 6 ワシントンで海軍軍縮条約調印
元 1	1912	11. 30 臨時閣議、陸軍の2個師団増設を否決			9. 1 関東大震災
		12. 2 上原勇作陸相、単独辞職	7	1918	9. 2 第2次山本内閣発足
		12. 5 第2次西園寺内閣総辞職	10	1921	12. 27 虎ノ門事件。山本内閣総辞職
		12. 21 第3次桂太郎内閣発足	11	1922	5. 1 陸軍軍縮。4個師団廃止を公示
		2. 5 桂内閣不信任案提出			4. 2 ロンドン海軍軍縮条約に軍令部反対
		2. 7 桂首相、立憲同志会を結成			4. 22 ロンドン軍縮条約調印
		2. 10 民衆が国会包囲。桂首相総辞職決断	12	1923	9. 18 満州事変始まる
		2. 11 桂内閣総辞職◆後継選考の元老会議			5. 15 五・一五事件。犬養毅首相を射殺
		2. 17 政友会、協議員会・代議士会で山本内閣との提携を承認	14	1925	12. 8 山本権兵衛死去。81歳
		2. 20 第1次山本権兵衛内閣発足◆国民党は政友会に提携断絶を通告	聯 5	1930	2. 26 二・二六事件。齋藤実内大臣ら射殺
		2. 24 尾崎行雄ら24人が政友会脱党	6	1931	3. 9 広田弘毅内閣発足
		3. 11 山本、議会で現役武官制改正を約束	7	1932	5. 18 軍部大臣の現役武官制復活
		3. 31 山本、各省次官に行政整理断行指示	8	1933	1. 24 宇垣一成に組閣の大命
		5. 2 軍部大臣現役武官制改正を閣議決定	11	1936	1. 29 宇垣、陸相を得られず組閣辞退
		5. 29 枢密院会議。現役武官制改正を審議◆宇垣一成(軍輔)が改正反対の怪文書	12	1937	7. 7 盧溝橋事件。支那事変始まる
		6. 13 軍部大臣の現役制を廃止、予備・後備役に広げる◆山本、行政整理大綱発表	16	1941	12. 8 太平洋戦争始まる
		6. 24 木越安綱陸相が辞職			